

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1020101181		
法人名	医療法人 中沢会		
事業所名	グループホーム N・Sホーム 2号		
所在地	群馬県前橋市下大島町596番地の1		
自己評価作成日	平成30年10月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>法人の敷地内に病院と介護老人保健施設が設置されており、医療健康面が充実している。また、敷地内の各所に木々や花々が植えられており、季節の移ろいを身近で感じる事が出来ている。ホールから見える花壇では、ゴーヤやオクラ、大根等を育てており、ホームで育てた野菜が食卓に並ぶこともある。グループホームは全部で3ユニットあり、それぞれに特色がある。また入居者様同士、それぞれのユニットに行き来し、交流を深める事も出来ている。食事や外出、レクリエーション等、入居者様の個々の意見を尊重し、意思決定を大切にしてい事で、生きがいを感じ、楽しく暮らせるホームを目指している。年に一度、職員は管理者と面談を行い、反省点や次の目標を明確にしていく事で、常に向上心を持って働ける環境を整えている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p></p>
---------

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に理念を念頭に置き、理念を意識しながら、理念に沿って業務に従事している。また、ホーム内に理念を掲示し、毎朝の申し送り時に復唱をしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と散歩に出かける際に地域の方とすれ違った時には、挨拶などの声掛けを行い、いつでも気軽に下さる様にお話している。また、ホームでイベントを行う際には、来訪して頂けるよう近隣にチラシを配ったり、地域行事にも参加させて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員、自治会長の御協力や回覧板を活用し、事業所で行われる勉強会への参加を仰いでいる。また地域に向けたホーム便りを回覧しホームでの様子を知って頂くことで認知症への理解をして頂くように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、3ユニット合同で定期的開催している。家族、民生委員、自治会長、包括職員に参加して頂き、行事報告やヒヤリハット・事故報告などを行っている。また、各出席者から意見や情報を提供して頂き、サービスの向上に努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点等はその都度、市の担当者に連絡し、法改正や他施設の事等を情報提供して頂いている。運営推進会議で情報提供や意見を頂ける事が多く、連携を図りながら運営に活かしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケア向上委員会には各ユニット数名ずつの職員が所属し、法人内で開かれる勉強会に参加したり外部の研修会に参加する事で、身体拘束をしないケアについての意識を高めている。玄関は施錠せずセンサーで対応を行っている。介護度が上がった時のリスクも考慮しながら、ケアの在り方の話し合いを勤めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア向上委員会の職員が主導し、虐待防止に向けた勉強会を開催している。また、法人内勉強会以外の外部の勉強会にも積極的に参加し、目に見えにくい虐待がある事も意識しながら、全職員が虐待防止に向けて取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内や外部の研修に参加し、制度を活用できるよう支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や退居時、介護保険制度改正や利用料金改正の時にはその都度説明を行い、同意書も頂きながら、理解・納得をして頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットそれぞれに苦情処理担当を配置し、苦情箱を設置する事で、家族のご意見をケアや運営に反映させて頂いている。また、面会時や電話で利用者の様子を伝える際に、ご意見を伺うようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者を交え、定期的に3ユニット合同の全体会議を開催し、意見交換を行っている。また、適宜管理者と職員との個別面談を行い、職員一人一人の自己評価や自己目標の聞き取り・個別の意見の聴取も行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は各ユニットリーダーとの連携により、職員個々の勤務状況を把握し、向上心を持って働けるよう、整備を努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は法人内で研修がある時には、積極的に参加出来る様、職員に呼びかけている。また、外部の研修にも参加しやすい職場環境を整えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は職員が他施設に見学に行き、交流を深める機会を設けている。また同業者との交流で得た物を文書で残し、他職員との情報共有を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前訪問を行い、安心してホームへ入居できるように配慮している。また、ホームでの生活における希望を、ご本人より聞き取りを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前訪問を行う中で、御家族の困り事などの思いを聞き取りしている。現在だけでなく今後の不安なども傾聴し、安心していつでも相談に乗れることをお伝えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に来られる方の相談内容によっては、当施設ではなく他の施設やサービス利用に繋がるような支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔からの生活の知恵を伺ったり、料理のコツを教えて頂いたり、職員・利用者全体の人間関係の中で、暮らしを共にする同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	各種行事に参加して頂いたり、家族会でそれぞれの思いを聞く機会を設けている。また、ご家族から本人の生活歴を伺い、そのことをより良いケアに結び付け、ケアの在り方を共に見直すようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の納涼祭や敬老会への参加、馴染みの場所へのドライブ等の外出、お盆や正月に帰省を行えるための支援をすることで、これまでの関係継続に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	寂しさを感じる事が無いよう、利用者同士がコミュニケーションを取っている時も様子をよく観察し、必要に応じて職員が間に入りながら、いたわりあい、支えあえる関係作りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、気軽に立ち寄って頂けるような関係性を築き、必要に応じて相談に乗っている。新たなサービスが必要などときには、そこに繋がるような支援を行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活歴・趣味等も考慮に入れながら、今後、どのように生活していきたいかの意向の把握を行っている。また、ADLからご本人のできる動作を把握し、そこから希望する生活に近付けるための支援を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	使い慣れた家具や馴染みの物を持って来ていただき、これまで馴染んだ生活に近い環境となるように努めている。また、ご本人やご家族からよく話を伺い、これまでの生活習慣の把握を行うことで、ケアに生かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの毎日の過ごし方・言動・表情や顔色・ADLの状態を観察し、いつもと違う様子が無いか、すぐに気付けるように現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の記録や申し送り等で、現状把握を職員間で統一している。また、モニタリングを毎月行っている。ケアプラン変更時にはご家族の意見も伺いながら、より良い介護計画となるよう、職員全体で話し合っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の様子やケアの実践結果、体調の変化やリスクに繋がる行動を記録に残し、職員間で共有し、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況・ニーズを把握し、柔軟に支援を行えるようにしている。また、入居に不安のある方などには、お試して短期間の利用をして頂いたり、数か月間の利用もして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に民生委員、自治会長が参加し、地域の情報提供や行事のお誘いをしてくださる。また、ボランティアの方も来訪され、利用者の為のレクリエーション等の企画もされている。月に一度、訪問理美容の方が来訪し、身だしなみを整える機会も設けている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在は全員が併設病院をかかりつけ医としており、2週間に1度往診を受けている。皮膚科・眼科・整形外科に関してはご家族対応で別の病院の受診となっているが、利用者の状態観察・把握を行い、適宜、受診に繋がられる支援を行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護者は利用者一人ひとりの体調変化があった場合や、いつもと違う様子が見られた場合には看護職に報告・相談し、利用者が適切に医療機関へ受診できるような支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院に至るまでの経緯や、日々の過ごし方などを病院職員に伝えている。また、入院中においては看護職員・介護職員が病院に伺い、状態を確認したり退院時期の情報などを、ワーカーより得ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期に向けた指針を定め、入所時に事業所としてできる事を説明し、意思の確認を随時行っている。看取りを行うに当たっては、ご家族・医師・看護職員・介護職員でよく話し合い、連携を持ったチームケアを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内で行われる応急処置や救急救命の講習会に参加し、AEDの使用方も学んできている。また、前橋市消防局の出張講座で、普通救命の講習も受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1号ユニットは単独、2・3号ユニットは合同で、昼間・夜間を想定した避難訓練を行っている。火災だけでなく、水害時の避難誘導訓練も行った。同一敷地内の介護老人保健施設や病院の職員にも声を掛けあい、協力して避難することとしている。また、消防署による指導も受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念に基づき一人ひとりの誇りとプライバシーを尊重しながら支援している。トイレや入浴時等もプライバシーに十分配慮し、出来る所は自分のペースで残存能力を活かしながら行って頂いている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の暮らし方やレクリエーション、食事の希望を伺うようにしている。自分で決められるような工夫を、個々の利用者ごとに行い、納得し満足できる住環境を整えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、お1人でゆっくり過ごしたい方・音楽を聴きたい方・歌いたい方・製作活動をした方など、それぞれの希望に沿った物に対応できるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の望む髪型になるよう整えたり、好みの衣類を選択できる支援や、髭剃りをし清潔に整える支援などを行っている。また、外出時には希望される方にはお化粧をするお手伝いもしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事には季節に合った食材やメニューを提供している。また調理の下ごしらえや片付けなど、出来る事を活かして頂いている。職員が一人、同じメニューで食卓を囲み、楽しい食事の時間を共有している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量や水分量を各時間毎に記録に残し、栄養摂取や水分摂取が適切になるようにしている。特に夏場は冷たい麦茶も常備しておき、いつでも水分摂取が出来るようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じ、毎食後に歯磨きの声掛けを行ったり見守りを行っている。また、夜間は義歯をお預かりし、衛生管理のために消毒を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お手伝いが必要な方に関しては排泄パターンを把握し、適宜トイレの声掛けを行ったり見守りを行ったりしている。また、リハビリパンツから布パンツに移行できるような支援も行っている。夜間はポータブルトイレを使用する方にも日中は声かけし、トイレを使用して頂くようにしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適切な量の水分を摂取して頂くようにしているが、お茶が嫌いな方等には好みの飲みやすい物を飲んで頂くようにしている。また、野菜や果物等を適量メニューに組み入れ、食事のバランスも良くなるようにしたり毎朝、乳酸菌飲料も提供している。その他、朝の体操やレクリエーションで、身体を動かす機会を設けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1人につき週に3度、午後に入浴する機会を設けている。ゆず湯やしょうぶ湯、酒風呂等、季節に合った入浴を楽しんで頂くような工夫も行っている。湯温や入浴時間など、ご本人の希望になるべく添えるよう支援を行うが、体調等の配慮もさせて頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠のリズムを大切に、良く休んで頂けるような支援を行っている。また、夜間不眠があり起きてこられる方には、会話対応やスキニップを行う等し、安心して休んで頂く様に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの内服内容を全ての職員が把握し、内容に変更があった時は記録に残して情報共有をしている。また、医師や看護師に症状の変化についての説明を受け、状態把握を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや調理の下ごしらえなど、できる事はお手伝いをして頂き、それを承認していくことで役割意識や張り合いを持って頂いている。また好みのレクリエーションに取り組んで頂くことで、気分転換を図る為の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には敷地内や近所の公園までの散歩を行ったり、テラスで外気浴を行っている。少し離れたショッピングセンターや花見ができる公園へ出かける時は、事前に御家族に連絡をし参加して頂ける事もある。公園への外出の時には職員がフルート演奏を行っている、地域住民も音楽に聴き入り、話しかけられることもあった。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望をされる方には、ご家族と話し合いの上でお金を所持して頂いている。外出時等、買い物をする際には自分で支払が出来る様、支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしても大丈夫な時間帯をあらかじめ伺っておき、ご本人が希望された時には電話を掛けられるようにしている。また、季節ごとの手紙のやりとりが出来るような支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が協力し合って作成した季節の壁面装飾を飾ったり、季節の飾り付けも職員・利用者と一緒に力を合わせて楽しんで行っている。また、明るさや温度など、快適な物となるよう配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールで過ごす際には利用者同士で和やかな時間が持てる様、座席配置を工夫したり、時には職員が間に入って楽しくコミュニケーションが取れる支援をしている。また、のんびりと1人で過ごせる時間も持てる様な工夫もしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたタンスや人形、ご家族の写真や本人の制作作品等を、安全面も確保した上で配置し、穏やかに安心して過ごして頂けるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床は全て段差が無いようにし、廊下には手すりを設置している。また各居室の前に利用者の名前を付けたリトイレのドアの色を目立つように変えていることで、安心して自立した生活を継続出来る様な工夫をしている。		